

箕面市立多文化交流センター

利用者等の意見交換会

～ご意見に対する指定管理者の考え・対応～

令和 3 年 9 月

指定管理者

公益財団法人箕面市国際交流協会

項	ご意見（要約）	考え	件数
1	最近、日本語教室に新たに参加したいという外国の方が増えているように感じる。せっかく興味があっても、行きたいクラスがいっぱいだったりするので、定員や機会を増やしてはどうか。	日本語教室に関する問い合わせは増えている。定員オーバーの教室もあるが、せっかくつながった人のニーズに何らかの形で答えていきたい。	1
2	<p>ハット市とのスカイプ交流は、途切れてから随分経つ。時間が経つほど先方と疎遠になると思うが、何の動きもない。</p> <p>コロナ禍ではあるが、このような状況だからこそオンライン事業ができるのではないか。</p>	<p>こちらの対応が遅れている。スカイプ交流は今年度、国際交流協会（指定管理者）が主催するかたちで取り組んでいくことになった。前半期にコロナの状況もあってなかなか進められないが、今後、きちんと取り組みたい。</p> <p>ニュージーランドと情報交換することは有意義だと考える。毎回、決めたテーマについてきちんと準備をして、開催方法や内容についてももっと工夫していきたい。</p>	1
3	地域の小学校へ出講する多文化理解プログラムの内容があまり共有されていない。ホームページなどに内容を共有してほしい。	<p>国際交流協会が行っている事業の質的な内容について、もっと幅広く共有する必要があると考える。</p> <p>事業の質的な中身を伝えていくツールとして、「めろん」とホームページがある。</p> <p>ホームページは、9月にリニューアルする予定なので、もう少し詳しく事業の報告を掲載していきたい。</p>	1
4	多文化理解プログラムや外国様ルーツを持つ子どもの保護者相談会などの事業の中で出された意見がどのように活かされているのか。	学校や市職員の研修などの機会を活用し、いただいた意見を共有していきたい。	1
5	緊急事態宣言発令中だが、部屋を借りることはできるのか。	府の方針に基づき、貸室利用は20時まで、イベント実施時は21時までと開館基準を定めている。	1